



# ひらかわ

# 市議会だより

## 第16号

平成21年12月15日

発行

平成21年  
9月定例会



平成20年度決算認定!! 一般会計歳出総額は  
154億5千万円、繰越額は5億3千万円に!

### 目次

- ◆平成21年第3回(9月)定例会(概要)…………… 2  
(審議した議案)…………… 3～5
- ◆決算特別委員会…………… 6～9
- ◆議決一覧表(第3回定例会・第5回臨時会)…………… 10
- ◆みなさまからの声(アンケート結果報告)…………… 11
- ◆市政に関する一般質問より(11議員)…………… 12～18
- ◆所管事務調査報告(建設経済常任委員会)…………… 18
- ◆【シリーズ】もっと知って議会Gikai [Vol. 5]… 19
- ◆議会の動き・編集室から…………… 20

平成21年第3回(9月定例会)一般質問より



(原画 工藤哲彦)

発行：青森県平川市議会  
 編集：平川市議会広報特別委員会  
 〒036-0104 青森県平川市柏木町藤山25番地6  
 TEL (0172)44-1111 FAX (0172)44-6988  
 メールアドレス：gikai@city.hirakawa.lg.jp

【お知らせ】「市議会だより」はインターネットでもご覧になることができます。  
 平川市ホームページ <http://www.city.hirakawa.lg.jp/> → 左側にあるメニュー一覧から「議会情報」→「市議会だより」からご覧下さい。

# 第3回(9月)定例会 決算特別委員会設置



平成21年第3回議会定例会は、9月4日から16日までの13日間開催されました。

初日、外川市長より「我が国の経済状況は、国の経済対策や外需の拡大等もあり、一時の最悪の状況から抜け出しつつあると言われているが、地方においては依然として厳しい経済状況が続いている。全市民が力を合わせてお互いに助け合い、この難局を乗り越えなければならぬと思っている。」と、あいさつの後、議案の提案理由の総括説明がありました。

本定例会では、平成20年度一般会計などの決算を審査するために決算特別委員会が設置され、25件の決算について原案どおり認定されました。

また、人事案件1件は原案どおり同意し、条例改正案4件、市道路線の廃止案1件及び同認定案1件、一般会計を含む各会計補正予算案8件の計15件は、付託された各常任委員会において慎重な審査の結果、いずれも原案どおり可決となりました。最終日に追加提案された「議員の派遣について」と請願1件は採択され、意見書が提出されました。

【会期日程】

9月4日(金)	本会議
9月5日(土)	(休会)
9月6日(日)	(休会)
9月7日(月)	(議案熟考のため休会)
9月8日(火)	常任委員会
9月9日(水)	一般質問
9月10日(木)	一般質問
9月11日(金)	決算特別委員会
9月12日(土)	(休会)
9月13日(日)	(休会)
9月14日(月)	決算特別委員会
9月15日(火)	決算特別委員会
9月16日(水)	本会議

初日に、会議録署名議員の指名を行い、会期を9月16日までの13日間と定め、諸報告が行われました。

外川市長のあいさつと提案理由の総括説明の後、決算特別委員会が設置されました。直ちに、決算特別委員会が開かれ、単記無記名投票選挙により、委員長に今井章也議員、副委員長に古川昭二議員が当選しました。

人事案件を除く議案と請願書が、総務企画、建設経済、教育民生の各常任委員会及び決算特別委員会にそれぞれ付託とされ、初日の日程は終了しました。



5日目には常任委員会を開催し、6日目からは2日間にわたり11人の議員が、理事者側に対して一般質問を行いました。

8日目と休会2日をはさんで11日目、12日目の3日間にわたり決算特別委員会を開催し、平成20年度の決算審査を行いました。

最終日には、平成21年度一般会計補正予算案ほか7件、条例改正案等の議案は、原案可決となりました。

青森県市議会議員研修会へ参加するため「議員の派遣について」の追加議案と「教育予算の拡充に関する意見書の提出を求める請願書」は採択され、意見書(案)の提出については、原案どおり可決されました。

# 審議した

# 議案

## 人事案件

### 人権擁護委員に

いま  
井い

いわお  
巖氏

### を任命

人権擁護委員今井 巖氏の任期が平成21年12月31日をもって満了するので、再任することに同意しました。

住所 平川市館山下扇田105番地1

氏名 今井 巖

生年月日 昭和22年1月27日生

## 条例改正案

### 市長の10月分給料

### 減額に！

●平川市特別職の職員給料等に関する条例の一部を改正する条例案(公布の日から施行)

8月14日に処分を行なった職員が親睦会費を着服を重く受けとめ、市長の平成21年10月分の給料月額を100分の10減額する。

#### 【委員会質疑】

問 管理職の育成状況について。

答 研修会などを行ない、管理職の資質を高めたい。

●学校教育法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例案(交付の日から施行)

学校教育法等の一部改正に伴い、平川市小学校及び中学校設置条例と平川市奨学金貸与条例に引用されている関係条項を整理する。

### 高額介護合算療養費支給事務開始！

●健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例案(交付の日から

施行し、平川市乳幼児医療費給付条例の規定と平川市ひとり親家庭等医療費給付条例と平川市重度心身障害者医療費助成条例の規定は、平成21年8月1日から施行)

平成20年4月から新たに「高額医療・高額介護合算制度」が創設され、平成21年8月1日から「高額介護合算療養費」の支給事務が開始されることから、乳幼児医療費給付事業、ひとり親家庭等医療費給付事業及び重度心身障害者医療費助成事業の助成額から控除するため。

#### 【委員会質疑】

問 高額医療・高額介護合算制度の内容について。

答 同じ世帯で1年間に支払った医療費と介護費を合わせて、自己負担を越えた部分が支給される制度である。今回は経過措置として、平成20年4月から平成21年7月までの16カ月分を適用することができ。

### 出産育児一時金39万円に！！

●平川市国民健康保険条例の一部を改正する条例案(平成21年10月1日施行)

健康保険法施行令の一部改正に伴い、出産育児一時金の支給額を改める。(平成21年10月1日から平成23年3月31日までに出生したとき35万円とあるのを39万円支給する。)



## その他

●市道路線の廃止について

沖館地区の沢田農道を県営一般農道整備事業として整備するため廃止する。

廃止する路線  
・2565 沖館宮崎1

号線 495・3メートル  
(起点:沖館宮崎103・1、  
終点:沖館宮崎32・1)

・2568 沖館宮崎沢田1号線 2803・4メートル(起点:沖館宮崎38・2、終点:沖館沢田80・247)

#### 【委員会質疑】

問 なぜ市道を廃止する必要があるのか。

答 農林課で農道を整備する補助事業であるため、市道を一度廃止し、農道として管理し、完了後に再度市道として認定する見込みである。

●市道路線の認定について

「市道路線の廃止について」の議案で廃止した残りの部分を認定する。

#### 認定する路線

・2565 沖館宮崎比山館3号線 369・0メートル(起点:沖館宮崎103・1、終点:沖館比山館76・3)

・2568 沖館宮崎10号線 189・0メートル(起点:沖館宮崎38・2、終点:沖館宮崎32・1)

# 補正予算関係

## 一般会計

予算の総額に、歳入歳出それぞれ1億128万7000円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ169億1320万3000円とする。

今回の補正の主な内容は、歳入ではエコ減税等による減収の補てんのための交付税確定により地方特例交付金871万5000円を増額、今回の補正の財源として地方交付税を26225万2000円を増額し、国の市町村合併推進体制整備補助金、地域介護福祉空間整備費補助金、子育て応援特別手当交付金など合わせて7822万6000円を追加し、一般寄附金とふるさと納税があったことから、増額して計上したことなどである。

歳出については、老人福祉施設のスプリングラー等整備のための補助金2379万6000円と、1年延長した子育て応援特別給付事業として2888万3000円を措置

し、りんご共済加入促進事業補助金598万3000円、夏秋いちご日本一飛躍産地育成事業補助金として202万5000円、消費者行政活性化事業として222万円、ものづくり中小企業支援補助金500万円を措置し、学校給食センター特別会計繰出金455万5000円を追加したことなどである。

【委員会質疑】  
**問** アスベスト分析調査の内容について。  
**答** 国が新たに示した調査基準に伴う分析調査である。

**問** りんご共済加入促進事業補助金の補助率と対象者数について。  
**答** 暴風雨など1点式が10%、暴風雨とひょう害、または霜害の2点式が20%。暴風雨、ひょう害、霜害の3点方式が30%の補助率である。対象者は想定で835人である。

**問** 小規模老人福祉施設スプリングラー整備事業補助金の該当施設数は。

**答** 3年間で行なう事業で、全部で11カ所。

**問** 夏秋いちご日本一飛躍産地育成事業費補助金の実施地区はどこか。  
**答** 町居地区である。

**問** 商工業振興費の印刷製本費222万円の内容。  
**答** 振り込み詐欺などの防止のため、啓発用冊子を作成する経費である。

**問** ものづくり中小企業支援補助金の対象企業はどこか。  
**答** 平賀地域の光城地区にある企業である。

**問** 子宮がん検診委託料の対象者数について。  
**答** 対象者は911人。



対象者には、無料のクーポン券が郵送されています。期限があるので、早めの受診を心がけましょう。(左が乳がん検診無料クーポン、右が子宮がん検診無料クーポン)

**国民健康保険特別会計**  
 予算の総額から、歳入歳出それぞれ50万2000円を減額し、歳入歳出予算の総額41億3480万円とする。

主な内容は、歳入では国庫支出金62万6000円、諸収入74万7000円を追加し、繰入金187万5000円を減額する。歳出では、保険給付費56万円、保険事業費76万7000円、諸支出金14万6000円を追加し、総務費219万5000円及び予備費18万6000円を減額する。

**老人保健特別会計**  
 予算の総額に、歳入歳出それぞれ20万4000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1103万4000円とする。歳入の主なものは再審査請求に伴う国保連からの返還金20万2000円、歳出の主なものは、実績報告に伴う過年度精算分の支払い基金の償還金13万9000円である。

**介護保険特別会計**  
 予算の総額から、歳入歳出それぞれ903万5000円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ28億1429万2000円とする。歳入は国庫負担金44万円、支払基金交付金66万円、県負担金27万5000円をそれぞれ増額し、職員給与費等繰入金金の減額等により1041万円の減額。歳出については、総務費1259万2000円減額、居宅介護福祉用具購入費及び高額医療合算介護サービス費の追加等で220万3000円を増額、地域支援事業費170万3000円を減額し、諸支出金を305万7000円追加する。

【委員会質疑】  
**問** 介護福祉用具購入費の利用状況と今後の見込みについて。  
**答** 4月から7月までの実績は38件、113万円。内容は、腰掛便座、入浴補助器の2つが主なものである。8月から年度内までには、240万円ほど必要であるとの見込みである。

**国民健康保険診療施設事業特別会計**  
 予算の総額から、歳入歳出それぞれ1030万1000円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ3億7885万2000円とする。歳入では繰入金を1030万1000円減額し、歳出では総務管理費を1030万1000円を減額する。

**学校給食センター特別会計**  
 予算の総額に、歳入歳出それぞれ45万5000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ3億9336万5000円とする。歳入では一般会計からの繰入金45万5000円を追加し、歳出では人件費384万1000円、修繕料69万3000円を追加する。

【委員会質疑】  
**問** 補正の内容について。  
**答** 当初はパートを要望していたが、期限付職員になったため、補正が必要となった。

水道事業会計

収益的収支の支出について、人事異動に伴う人件費を874万9000円減額するものである。

【委員会質疑】

問 当市水道は、ほぼ整備されているため、人員はまだまだ少なくなってもよいのではないか。

答 平成20年度から平成21年度にかけて人員を削減するなど、企業努力をしているが、これからは、民間への包括的な委託の方法を検討し、経費の削減に努める。

下水道事業会計

収益的収支の収入について、一般会計補助金を787万8000円減額し、支出について人事異動に伴う人件費同額78万8000円を減額する。また、資本的支出において、汚水ます設置のための工事請負費ほか153万1000円を増額するものである。

【委員会質疑】

問 汚水ます設置工事は何戸分の予算か。

答 6戸分の予算である。

請願書

(採 択)

●教育予算の拡充に関する意見書の提出を求める請願書

請願者

日教組青森県教職員組合

紹介議員(記名順)

福士恵美子、小野敬子、齋藤政子

議員提出議案

◆教育予算の拡充を求め意見書(案)の提出について

△内容▽

義務教育費国庫負担金の負担割合の縮小、地方交付税削減など厳しい地方財政の状況から、自治体において教育予算の確保が困難となっている。自治体の財力や保護者の所得の違いによって、子供たちが受ける教育水準に格差があつてはならない。教育予算を国全体として、確保・充実させる必要がある。

陳情・要望書

陳情書

(配 布)

青森県保険医協会

●乳幼児期の(※)ヒブワクチン接種助成に関する陳情

●高齢者の(※)肺炎球菌ワクチン接種の助成に関する陳情

※ヒブ：肺炎・敗血症・口頭蓋炎などさまざまな感染症を引き起こし、特に細菌性髄膜炎はいずれも重症化すると命にかかわる。

※肺炎球菌：細菌やウイルスなどが原因で起こる肺炎を引き起こす細菌。

意見・要望書等

(配 布)

平川市農業委員会  
青森県農業会議

新たな農地制度が適正かつ円滑に運用されるよう、農業委員会の活動予算の確保、農地の制度・実務に精通した職員確保・増員など事務局体制の整備・強化に御尽力を賜りますようお願い致します。

第5回臨時会

冬の期末手当減額に！

平成21年第5回臨時会は、11月27日に招集され、第2回臨時会に引き続き、議員等の期末手当の引き下げに伴う条例改正案4件が上程され、原案どおり可決されました。国家公務員の給与改定等、県の人事委員会の勧告を受け、期末手当等を引き下げました。また、新型インフルエンザ対策として、重症化が予想される優先接種対象者や低所得者に対して、ワクチン接種の向上率を図り、重症者を減らすため、接種費用の助成が急がれるため専決した補正予算1件は原案どおり承認されました。

新型インフルエンザ  
ワクチン接種費用  
助成に!!

●専決処分の承認

平成21年度平川市一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出予算の総額に

歳入歳出それぞれ619

6万3000円を追加し、

歳入歳出の総額をそれぞれ

169億7516万600

0円とする。

優先接種対象者で生活

保護世帯または非課税世

帯は全額助成。

優先接種対象者以外で

生活保護世帯または市民

税非課税世帯の方は2回

分で24000円の助成。

詳しくは、市役所健康

推進課保健係(内線11

43、1144)へ。

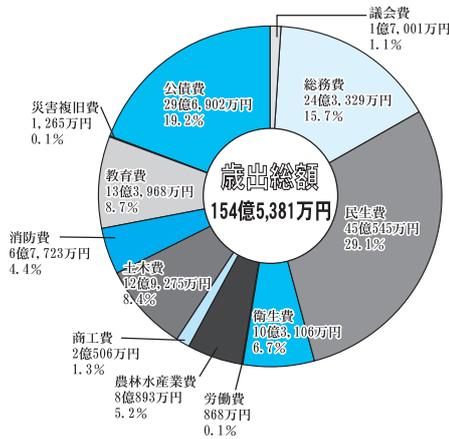
●平川市特別職の職員の給料等に関する条例の一部を改正する条例案(平成21年12月1日から施行)  
●平川市特別職の職員の一部を改正する条例案(平成21年12月1日から施行)  
●平川市職員の給与に關する条例等の一部を改正する条例案(平成21年12月1日から施行)  
●平川市教育委員会教育長の給与、勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例案(平成21年12月1日から施行)  
●専決処分の承認  
平成21年度平川市一般会計補正予算(第4号)  
歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ6196万3000円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ169億7516万6000円とする。  
優先接種対象者で生活保護世帯または非課税世帯は全額助成。  
優先接種対象者以外で生活保護世帯または市民税非課税世帯の方は2回分で24000円の助成。  
詳しくは、市役所健康推進課保健係(内線1143、1144)へ。

●平川市特別職の職員の給料等に関する条例の一部を改正する条例案(平成21年12月1日から施行)  
●平川市特別職の職員の一部を改正する条例案(平成21年12月1日から施行)  
●平川市職員の給与に關する条例等の一部を改正する条例案(平成21年12月1日から施行)  
●平川市教育委員会教育長の給与、勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例案(平成21年12月1日から施行)  
●専決処分の承認  
平成21年度平川市一般会計補正予算(第4号)  
歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ6196万3000円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ169億7516万6000円とする。  
優先接種対象者で生活保護世帯または非課税世帯は全額助成。  
優先接種対象者以外で生活保護世帯または市民税非課税世帯の方は2回分で24000円の助成。  
詳しくは、市役所健康推進課保健係(内線1143、1144)へ。

●平川市特別職の職員の給料等に関する条例の一部を改正する条例案(平成21年12月1日から施行)  
●平川市特別職の職員の一部を改正する条例案(平成21年12月1日から施行)  
●平川市職員の給与に關する条例等の一部を改正する条例案(平成21年12月1日から施行)  
●平川市教育委員会教育長の給与、勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例案(平成21年12月1日から施行)  
●専決処分の承認  
平成21年度平川市一般会計補正予算(第4号)  
歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ6196万3000円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ169億7516万6000円とする。  
優先接種対象者で生活保護世帯または非課税世帯は全額助成。  
優先接種対象者以外で生活保護世帯または市民税非課税世帯の方は2回分で24000円の助成。  
詳しくは、市役所健康推進課保健係(内線1143、1144)へ。

# 平成20年度一般会計決算 歳出総額154億5千万円に

平成20年度一般会計歳出内訳



決算特別委員会は、9月4日組織会を開催し、単記無記名投票において過半数以上を占め、委員長には今井章也委員、副委員長には古川昭二委員が選任されました。その後11日、14日、15日の3日間にわたり、一般会計を含む特別会計及び企業会計25会計の平成20年度決算認定について、各委員から活発な質問が行われました。

一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計については賛成多数で、その他予算案については、全会一致で認定されました。

※質疑等については要約して掲載しています。

【歳出】

(単位：円)

科 目	予算現額	支出済額	繰越額	執行割合 (%)	
				予算対	歳出計対
議 会 費	170,279,000	170,011,769		99.8	1.1
総 務 費	2,441,068,000	2,433,289,784	5,000,000	99.7	15.7
民 生 費	4,776,960,000	4,505,451,593	265,610,000	94.3	29.1
衛 生 費	1,036,218,000	1,031,055,973		99.5	6.7
労 働 費	8,696,000	8,684,760		99.9	0.1
農 林 水 産 業 費	822,088,000	808,928,840	11,800,000	98.4	5.2
商 工 費	214,519,000	205,059,976	8,798,000	95.6	1.3
土 木 費	1,350,107,000	1,292,748,669	53,800,000	95.8	8.4
消 防 費	717,207,000	677,226,519	39,280,000	94.4	4.4
教 育 費	1,490,663,000	1,339,681,592	146,153,000	89.9	8.7
災 害 復 旧 費	12,988,000	12,650,520		97.4	0.1
公 債 費	2,969,027,000	2,969,023,705		100.0	19.2
予 備 費	47,268,000				
歳 出 合 計	16,057,088,000	15,453,813,700	530,441,000	96.2	100.0

構成比は、四捨五入のため積算が一致しない場合がある。

## 一 般 会 計

### 歳入全般

**質 疑**  
**問** 市税全般で不納欠損額が2000万円余あるが、夜間徴収と一斉臨戸徴収でどのくらい徴収し、給料や不動産の差し押さえをしたのか。

**答** 平川市税等収納向上委員会は、5日間実施し、関係部長・課長等が夜間に臨戸訪問した実績は173件、総額136万3400円。給料の差し押さえが43件、1479万1900円。預金等の差し押さえ84件、599万6033円。年金の差し押さえは25万6219円で不動産の差し押さえは5件972万80円である。しかし、後日納付に来る方もあるため、夜間徴収で幾ら、昼間の徴収で幾らというふうには一概に言えない。

公民館の合計で2253件、利用者4万2266人で若干下回るが、ほぼ前年並み。文化センターは114件、43万700円。前年度比24件減、約90万円の減。生涯学習センターは、736件、1万2572名、前年度比75件減、1800人程度減。

**問** 保育料を、1子目払っていない人は、払ってからでないかと2子、3子は入れないことはできないのか。

**答** そういう整理の仕方ができれば保育所にかかる経費はすっきりできるが、児童福祉法により今のところできかねる。保育園の園長の協力を得ながらという形になる。

**問** 奨学貸付金の滞納に

**問** 公民館、文化センター、生涯学習センターの使用状況について。

**答** 平賀公民館、尾上公民館、碓ヶ関公民館、古懸地区公民館、久吉地区

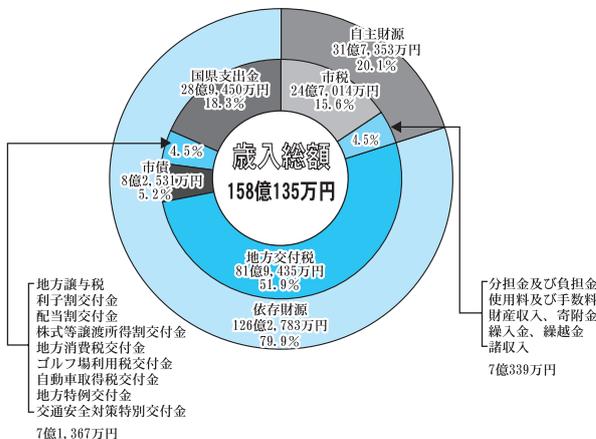
奨学貸付金の滞納に

# 決算特別委員会

# 決算審査



平成20年度一般会計歳入内訳



## 一般会計の 決算状況

【歳入】

(単位:円)

区分	割合(%)	予算現額	調定額	収入済額	収入割合(%)		
					予算対	調定対	歳入計対
自主財源	20.1	2,470,140,150	2,657,441,296	2,470,140,150	107.0	93.0	15.6
税		216,289,000	243,124,405	217,980,545	100.8	89.7	1.4
分担金及び負担金		158,706,000	159,209,008	157,338,293	99.1	98.8	1.0
使用料及び手数料		61,144,000	61,633,343	61,633,343	100.8	100.0	0.4
財産収入		4,657,000	4,657,661	4,657,661	100.0	100.0	0.0
寄附金		6,689,000	6,688,647	6,688,647	100.0	100.0	0.0
繰入金		55,796,000	55,796,605	55,796,605	100.0	100.0	0.4
繰越金		187,278,000	226,586,947	199,291,093	106.4	88.0	1.3
諸収入		270,166,000	270,166,000	270,166,000	100.0	100.0	1.7
地方譲与税		9,058,000	9,058,000	9,058,000	100.0	100.0	0.1
利子割交付金		1,709,000	1,709,000	1,709,000	100.0	100.0	0.0
配当割交付金		451,000	451,000	451,000	100.0	100.0	0.0
株式等譲渡所得割交付金		288,189,000	288,189,000	288,189,000	100.0	100.0	1.8
地方消費税交付金		15,746,000	15,746,797	15,746,797	100.0	100.0	0.1
ゴルフ場利用税交付金		88,924,000	88,924,000	88,924,000	100.0	100.0	0.6
自動車取得税交付金		34,575,000	34,575,000	34,575,000	100.0	100.0	0.2
地方特例交付金		4,850,000	4,850,000	4,850,000	100.0	100.0	0.0
交通安全対策特別交付金		8,194,351,000	8,194,351,000	8,194,351,000	100.0	100.0	51.9
地方交付税		2,334,156,000	1,904,290,311	1,904,290,311	81.6	100.0	12.1
国庫支出金		989,935,000	990,208,900	990,208,900	100.0	100.0	6.3
県支出金		825,309,000	825,309,000	825,309,000	100.0	100.0	5.2
市債		825,309,000	825,309,000	825,309,000	100.0	100.0	5.2
歳入合計	100.0	15,801,354,345	16,042,965,920	15,801,354,345	98.4	98.5	100.0

**問** バス運行費補助金3,97万8,000円の内訳について。

**答** 市内には、循環バス、地域生活交通再生路線、生活道路維持の3タイプのバスが走っている。循環バスは市内だけ運行しており、赤字分は市のみが補てんする。地域生活交通再生路線は、県の費用と、路線にある複数の市町村が距離で按分によ

**総務費**

**問** 市内には、循環バス、地域生活交通再生路線、生活道路維持の3タイプのバスが走っている。循環バスは市内だけ運行しており、赤字分は市のみが補てんする。地域生活交通再生路線は、県の費用と、路線にある複数の市町村が距離で按分によ

**答** 市内には、循環バス、地域生活交通再生路線、生活道路維持の3タイプのバスが走っている。循環バスは市内だけ運行しており、赤字分は市のみが補てんする。地域生活交通再生路線は、県の費用と、路線にある複数の市町村が距離で按分によ

ついて収入未済額が125万円の内訳は。また、返還免除の職業はあるのか。

**答** 高校の分として15名、短大等で6名、大学9名の計30名。市独自の奨学金であるため、職業による償還免除は一切ない。

**問** 特別保証制度貸付元利収入はどこから入ってくるのか。

**答** 中小企業の事業資金保証を行なうための資金で、定に資するための資金で、貸付先は青森銀行平賀支店と尾上支店、東奥信用金庫平賀支店と尾上支店、あおもり信用金庫碓ヶ関支店である。

**問** 平成20年度に、実際に交付を受けた人を除いた額であり、平成21年度に繰り越す金額で、申請により交付される。

**問** 市長交際費で香典を出す基準は。

**答** 市意規定に基づいて、最高5万円から3,000円で支出している。

**問** 定額給付金の繰越明許費2億3,752万円は未交付で、これから交付される額なのか。

**問** 電子計算費の委託料は高いと思うが見積もりを取っているのか。

**答** 見積もりは1社であるが、それぞれ機種が違っているので、そう簡単には比較できない。

て負担するものと、弘南バスの路線を国、県、構成市町村が赤字部分を負担する制度があり、循環バスが1,939万7,000円、地域生活交通再生路線が1,293万4,000円、残りが生活道路維持費という市内公共交通路線の補助金である。

## 衛生費

**ごみの有料化で負担金2000万円の減!**

**質疑**

**問** 平成20年度からごみの有料化、減量化を進めてきたが、その効果は。

**答** 平成19年度と比較して可燃ごみは1724トン減、不燃ごみ524トン減、大型ごみ89トン減、資源ごみ回収136トン増、集団回収56トン増となっており、清掃施設組合の負担金は、ごみの量に対して決まるので、弘前地区環境整備事務組合約1000万円減、黒石地区清掃施設組合約1000万円の減となった。

## 農林水産業費

**質疑**

**問** 夏秋いちご日本一飛躍産地育成事業補助金で、どの程度の規模の産地を目指しているのか。

**答** 現在210アール。目標設定としては少ないけれど、平成24年度までには260アールぐらいまでしたいと考えている。

**問** 放任園樹対策委託料の支払先と内容について。

**答** 各防除組合(JA津軽みらい共同防除連絡協議会、JAつがる弘前碓ヶ関安全安定生産委員会)に支払っており、リンゴ腐乱病・黒星病などの発生を防止するために巡回指導や状況を調査するための経費である。

## 商工費

**質疑**

**問** 補償補填及び賠償金300万円の内容と、弁護士費用について。

**答** ロマン館の中にあつたレストランの立ち退き料である。

**問** きちんとした手続きをしていけば、払う必要がなかったと思うが悔や

まれる。弁護士費用も発生したが、何回ぐらいの交渉だったのか。

**答** 弁護士費用は31万5000円で、3回ほど。そのほか電話等でのやり取りがあったと記憶している。

**問** 雇用維持奨励金の交付先について。

**答** 世界同時不況により市内各企業の雇用が激減していく中、雇用の確保のために、条件を満たした8企業に合計2104万円交付した。

## 土木費

**質疑**

**問** 除雪は何回出動したのか。

**答** 山手は、40回は超える。平地は10回少なく、大体30回出動した。

## 消防費

**質疑**

**問** 平成24年度に合併する、消防の広域化に関する項目はどれか。

**答** まだ負担金を納めるという体制になっていない。広域化に関する組織がまだできていない。関

## 教育費

係市町村長に対しての説明会が開かれた際、全員一致で賛成であり、広域化に向けて進むということになっている。

**質疑**

**問** 総合運動施設費のトレーニングマシンの保守点検10万5000円があるが、開館してだいぶ経つので、マシンの更新等考えているのか。

**答** 設備器械の延命もあるが、利用者の安全が第一だと考えている。新しい機種もいろいろ出てきているので、今後スポーツ審議会などを通して、更新ということではなく計画的に検討させていただきたい。

## 討論

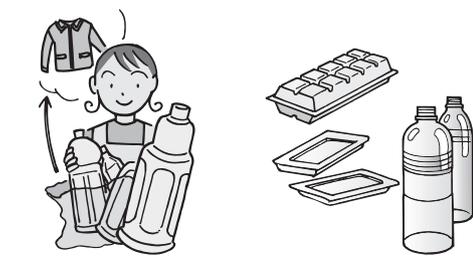
**問** 金田小学校の大規模改修と体育館の耐震補強工事をし、教育民生常任委員会でも調査をした。外は新しくても中は古いまま、もう少しきちんと大改修をやれなかったのか。適切な決算と考えているのか。

**答** 国の補助事業で行なったので、基本的には、躯体に影響を与えないで、耐用年数を大幅に延ばすための工事が主目的である。屋根、外壁が主で、内部については構造上の問題がなければ、基本的には表面上の、床の張りかえ等のグレードとなっている。体育館は躯体の耐震補強であり、がっちり改修された。建物全体の維持を目指すものであり、補助の範囲内で行なわれたと考えている。

## 賛成

古川 昭二 議員

健全化判断比率を見ても実質公債費率19.9%、将来負担率135.2%と昨年度と比べて良好に改善されており、健全化の改革跡も見られる点からも、認定するのは、当然である。



## 国民健康保険 特別会計

### 質疑

**問** 資格証明書発行世帯数と、その中で制度改正により中学生以下には短期被保険者証を与えることになったが、対象者はどれくらいか。

**答** 平成21年7月で41世帯であるが、その中に短期被保険者証を交付する15歳以下の対象者はいない。

**問** 脳ドック委託料233万9300円の人数についてふやせないか。

**答** 昨年度は100人行なつた。近くで脳ドックの委託を受ける診療施設が黒石病院しかなかったため、黒石病院と協議し、平市は最大で100人ということから申し込みを受けた。ほかの病院でやっているところもあるが、もう少し当たって、対象人数を拡大する形で、現在考えている。

**■訂正とおわび■**  
平成21年9月15日発行「ひらかわ市議会だより」第15号の19ページ、上から4段目の写真説明文章の中で「葛川診療所長」とありますが「葛川支所長」の誤りでした。訂正し、おわびいたします。

### 討論

#### 反対討論

齋藤 律子 議員

国民皆保険制度は、もはや崩壊している。高すぎる保険料と重い窓口負担が引き起こす死亡事件も発生している。世の中の情勢に合った規定をつくり、申請減免や免除を受けていく体制づくりが急がれる。

#### 賛成討論

齋藤 正明 議員

資格証明書の発行があり、税の滞納額が相当額に上るものの、徴収について精一杯努力している。適正な医療給付がされており、全体として安定した運営がなされている。

## 後期高齢者 医療特別会計

### 質疑

**問** 普通徴収保険料の督促手数料と、延滞金6000円の内容について。

### 討論

#### 反対討論

齋藤 律子 議員

**答** 普通徴収については年度対象者が4847人、未納者が160人、徴収率96.7%である。それに基づいた督促手数料、延滞金等であり、制度に基づいたものである。

#### 反対討論

齋藤 律子 議員

初年度の決算で、当初から制度に対する問題点が指摘され、全国的に怒りの声がわき上がっていた。その声に対し、多少制度が改正されたものの、予期したとおり、普通徴収分の保険料の滞納が発生している。後期高齢者医療制度は廃止しかなと改めて思う。

#### 賛成討論

小田桐信勝 議員

制度自体には確かに問題があるが、決算の認定については、使い道などに対してのものであり、制度自体を否定することは無理である。

## 平成20年度 各会計の決算状況

会計名		収入額		支出額	
一般会計		158億	135万 4千円	154億	5,381万 4千円
特別会計	国民健康保険	41億	7,903万 6千円	41億	5,906万 5千円
	老人保健	3億	2,456万 8千円	3億	2,456万 8千円
	介護保険	28億	2,646万 8千円	27億	4,593万 0千円
	後期高齢者医療保険	2億	1,365万 1千円	2億	1,175万 4千円
	診療所	3億	7,243万 8千円	3億	7,243万 8千円
	学校給食センター	3億	9,319万 7千円	3億	9,319万 6千円
尾上地区住宅団地温泉事業		945万 9千円		778万 6千円	
簡易水道		1,148万 3千円		1,148万 3千円	
計		241億	4,165万 3千円	236億	8,003万 4千円
企業会計	水道事業	収益的	6億 232万 6千円	5億	4,198万 5千円
		資本的	5億 429万 0千円	7億	6,175万 3千円
	下水道事業	収益的	8億 5,053万 4千円	10億	3,861万 3千円
		資本的	13億 6,346万 7千円	15億	515万 4千円

千円未満四捨五入のため、積算が一致しない場合がある。

## 学校給食センター特別会計

### 質疑

**問** 昨年、食材が高騰したが、その影響はどこに出ているのか。

**答** ガソリンを中心とし、小麦粉等大きく値上がりした。パンが特に高騰したので、パンの回数を米飯に切りかえる対策等により、ほぼ給食費の範囲内でおさまった。冬休みもあり、燃料費の関係は、補正で十分対応した。

## 住宅団地温泉事業特別会計

### 質疑

**問** 基金もあるので、早期に民間へ移行すべきではないか。

**答** 温泉法改正により基準が厳しくなり、現在クリアできていない部分もあるため、現在説明会を開けない状態、遅れている。

## 下水道事業会計

### 質疑

**問** 公共下水道で、特別職や職員のうち未加入はどのくらいあるのか。

**答** 特別職は未調査だが、昨年に職員のうち未加入者は41名だったが、その後4名継続している。

## 財産区一般会計

### 質疑

**問** 旧平賀町の財産区が主であるが、旧尾上町の山林は市有林として市で管理しており、木が売れた場合は縁故町会にお金が入る。かかった経費を差し引いているのか。山の管理は大変であり、不公平を感じるが。

**答** 木材を販売する際に搬入や、販売に至った経費は差し引くが、何年もかかった労力等の経費は入っていない。取り扱いが違ふことには、努力をしていかなければと思っている。

## 議 決 一 覧 表

## 平成21年第3回定例会

議案 番号	議 案 名	本 会 議		委 員 会		
		結 果	備 考	付託先	結 果	備 考
<b>【人事案件】</b>						
81	人権擁護委員候補者の推薦について	原案同意	全会一致	付託省略		
<b>【条例案・条例改正案】</b>						
82	平川市特別職の職員の給料等に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
83	学校教育法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例案	原案可決	全会一致	教育民生	原案可決	全会一致
84	健康保険等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例案	原案可決	全会一致	教育民生	原案可決	全会一致
85	平川市国民健康保険条例の一部を改正する条例案	原案可決	全会一致	教育民生	原案可決	全会一致
<b>【その他】</b>						
86	市道路線の廃止について	原案可決	全会一致	建設経済	原案可決	全会一致
87	市道路線の認定について	原案可決	全会一致	建設経済	原案可決	全会一致
<b>【補正予算案】</b>						
88	平成21年度平川市一般会計補正予算案（第3号）	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
89	平成21年度平川市国民健康保険特別会計補正予算案（第2号）	原案可決	全会一致	教育民生	原案可決	全会一致
90	平成21年度平川市老人保健特別会計補正予算案（第1号）	原案可決	全会一致	教育民生	原案可決	全会一致
91	平成21年度平川市介護保険特別会計補正予算案（第1号）	原案可決	全会一致	教育民生	原案可決	全会一致
92	平成21年度平川市国民健康保険診療施設事業診療所特別会計補正予算案（第2号）	原案可決	全会一致	教育民生	原案可決	全会一致
93	平成21年度平川市学校給食センター特別会計補正予算案（第1号）	原案可決	全会一致	教育民生	原案可決	全会一致
94	平成21年度平川市水道事業会計補正予算案（第2号）	原案可決	全会一致	建設経済	原案可決	全会一致
95	平成21年度平川市下水道事業会計補正予算案（第2号）	原案可決	全会一致	建設経済	原案可決	全会一致
<b>【議員提出議案】</b>						
3	教育予算の拡充を求める意見書（案）の提出について	原案可決	全会一致	付託省略		
<b>【議員派遣】</b>						
3	議員派遣について	原案可決	全会一致	付託省略		
<b>【請願】</b>						
2	教育予算の拡充に関する意見書の提出を求める請願書	採 択	全会一致	教育民生	採 択	全会一致
<b>【平成20年度歳入歳出決算認定について】</b>						
96	平川市一般会計	認 定	起立多数	決算特別	認 定	起立多数
97	平川市国民健康保険特別会計	認 定	起立多数	決算特別	認 定	起立多数
98	平川市老人保健特別会計	認 定	全会一致	決算特別	認 定	全会一致
99	平川市介護保険特別会計	認 定	全会一致	決算特別	認 定	全会一致
100	平川市後期高齢者医療特別会計	認 定	起立多数	決算特別	認 定	起立多数
101	平川市国民健康保険診療施設事業診療所特別会計	認 定	全会一致	決算特別	認 定	全会一致
102	平川市学校給食センター特別会計	認 定	全会一致	決算特別	認 定	全会一致
103	平川市尾上地区住宅団地温泉事業特別会計	認 定	全会一致	決算特別	認 定	全会一致
104	平川市簡易水道特別会計	認 定	全会一致	決算特別	認 定	全会一致
105	平川市水道事業会計	認 定	全会一致	決算特別	認 定	全会一致
106	平川市下水道事業会計	認 定	全会一致	決算特別	認 定	全会一致
107 , 120	<平川市財産区一般会計> 広船財産区(107)、小和森財産区(108)、荒田財産区(109)、大坊財産区(110)、石郷財産区(111)、館田財産区(112)、大字大光寺(113)、平田森財産区(114)、新尾崎財産区(115)、新館財産区(116)、沖館財産区(117)、葛川財産区(118)、吹上・高畑財産区(119)、碓ヶ関財産区(120) [計14件]	認 定	全会一致	決算特別	認 定	全会一致

## 平成21年第5回臨時会

議案 番号	議 案 名	本 会 議		委 員 会		
		結 果	備 考	付託先	結 果	備 考
<b>【条例案・条例改正案】</b>						
121	平川市議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決	全会一致	付託省略		
122	平川市特別職の職員の給料等に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決	全会一致	付託省略		
123	平川市教育委員会教育長の給与、勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決	全会一致	付託省略		
124	平川市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案	原案可決	全会一致	付託省略		
<b>【専決処分事項の報告】</b>						
専決8	平成21年度平川市一般会計補正予算（第4号）	承 認	全会一致	—		

【アンケート縮小版】

平川市議会（6月定例会）

一般質問に対するアンケートのご協力について

平川市議会事務局

一般質問を傍聴して、ご意見・ご感想・日頃感じていることなどを率直にお聞かせください。今後の参考とさせていただきます。  
あてはまる項目を○で囲んでください。（「理事者」とは、市長他です）

- 年齢について。  
①20代以下 ②30代 ③40代 ④50代 ⑤60代以上
- 性別について。 ①男 ②女
- 議会を傍聴しようと思った理由はなんですか。  
①特定の一般質問の内容に興味があった。  
②特定の議員（質問者）の発言を聞きたくったから。  
③一般質問（全体）を傍聴したかった。  
④その他（理由： ）
- 一般質問の日程をどのようにして知りましたか。  
①議会事務局に問合せた。  
②質問者（議員）から聞いた。  
③関係者から聞いた。 ④新聞を見た。  
⑤インターネットで調べた。  
⑥その他（具体的に： ）
- 一般質問について  
(1)質問者（議員）の声は、よく聞こえましたか。  
①はい ②いいえ ③どちらともいえない  
(2)質問者（議員）の内容はよくわかりましたか。  
①とてもわかりやすい ②大体わかる  
③あまりわからない ④わからない  
(3)答弁者（理事者）の声は、よく聞こえましたか。  
①はい ②いいえ ③どちらともいえない

- 答弁者（理事者）の内容はよくわかりましたか。  
①とてもわかりやすい ②大体わかる  
③あまりわからない ④わからない

- 一般質問の方法について  
(1)質問の方法に「一括質問方式」と「一問一答方式」があるをご存知ですか。  
①知っていた ②知らなかった  
③聞いたことはあるがあまりよくわからない

一括質問方式とは：質問者（議員）は、壇上より全ての質問を一括で行い、理事者も一括で答弁を行います。その後、時間の許す限り質問し、理事者が答弁します。

一問一答方式とは：質問者（議員）は、自席において質問を行い、質問項目が複数の場合は1項目ごとに区切り、質問と答弁を交互に続ける方法です。

- 質問方法について、ご意見があれば自由に記入してください。
- 「一括質問方式」と「一問一答方式」では、どちらがわかりやすいですか。  
①一括質問方式 ②一問一答方式  
③どちらともいえない  
④質問者や答弁者による  
⑤あまり違いはない ⑥わからない
  - 議場内について  
(1)環境はどうでしたか。  
①暑かった ②ちょうどよかった  
③涼しかった ④寒かった ⑤その他

- 議員の姿勢・態度について（思ったことなどがあればお書きください）

- 理事者の姿勢・態度について（思ったことなどがあればお書きください）

- 議会広報「ひらかわ議会だより」について  
(1)「ひらかわ議会だより」を年4回発行していますか、知っていましたか。  
①知っていた ②知らなかった  
③聞いたことがある

- 「①知っていた」と答えた方にお聞きします。「ひらかわ議会だより」を読んでいますか。  
①必ず読む ②たまに読む ③ほとんど読まない  
④読まない ⑤興味がない
- インターネット（平川市ホームページ）で「議会だより」を掲載していることを知っていましたか。  
①知っていた ②知らなかった  
③知っていたが見たことはない  
④インターネットを見る機会がない

開かれた議会・わかりやすい議会を目指しております。ご意見・ご感想などがありましたらお書きください。

ご協力ありがとうございました。アンケートは集計し数値で取り扱いますが、ご意見などは「議会だより」に掲載する場合があります。



# Part 1

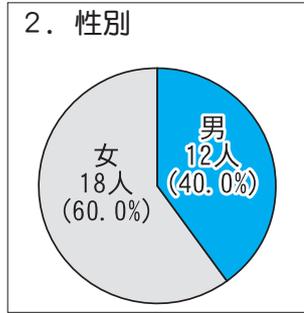
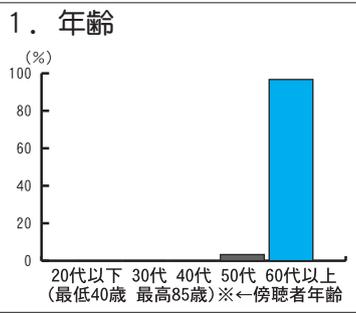
アンケート調査期間：  
平成20年9月定例会から  
平成21年6月定例会まで

対象者：一般質問傍聴者  
延べ傍聴者数：126人  
実質傍聴者数：60人  
(同名を除く)

アンケート回答者数  
：31人 (51.7%)

回答者数  
実質傍聴者数 ×100

## アンケートご協力ありがとうございました。 次回の「議会だより第17号」で、引き続き結果をお知らせします。



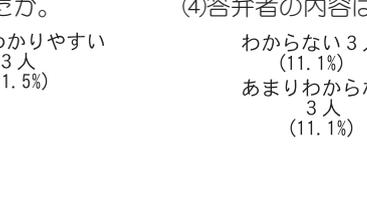
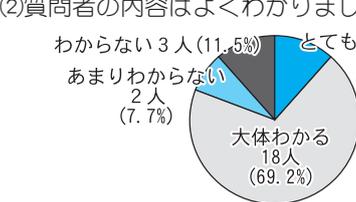
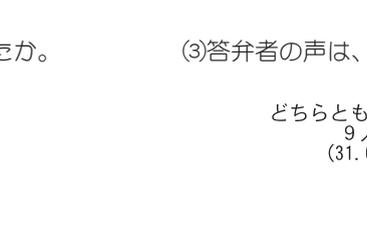
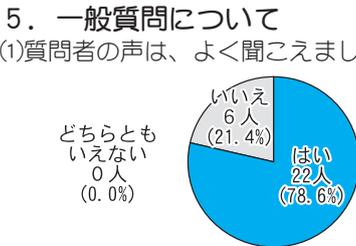
- アンケート1枚で、1人としています。
- 無回答はカウントしていません。回答数全体の中で割合を求めています。
- 意見等は要約している場合があります。

3. 議会を傍聴しようと思った理由はなんですか。
- ①特定の一般質問に興味があった…………… 1人( 3.1%)
  - ②特定の議員（質問者）の発言を聞きたくった。…… 6人(18.8%)
  - ③一般質問（全体）を傍聴したかった……………19人(59.4%)
  - ④その他…………… 6人(18.8%)
    - ・納税の活用を知りたい（合併の目的でしたから）[9月]
    - ・議員や答弁者の資質の確認のため[3月]
    - ・議員の活動状況及び議事での態度、姿勢[6月]

◆コメント◆60歳代以上の女性が多く、市政全般に関心を持たれていることがわかります。議会日程は、新聞から情報を得ている方が多いことがわかります。定例会1週間くらい前からは平川市のホームページでも日程（案）をお知らせしておりますので、PRが必要だと感じています。  
質問者、答弁者の声はともに聞こえるが、内容についてはわかりにくい部分もあるようです。もっと、市民にわかりやすく表現できるよう勉強していかなければと考えています。

4. 一般質問の日程をどのように知りましたか。
- ①議会事務局に問い合わせ…………… 6人(16.2%)
  - ②質問者から聞いた…………… 1人( 2.7%)
  - ③関係者から聞いた…………… 8人(21.6%)
  - ④新聞を見た……………18人(48.6%)
  - ⑤インターネットで調べた…………… 0人( 0.0%)
  - ⑥その他…………… 4人(10.8%)

平成20年第3回（9月）定例会から1年間にわたって一般質問の際、傍聴者の皆様からの率直な意見をいただき、まことにありがとうございます。今後もお気軽に御意見等をお寄せください。御協力感謝いたします。





平成21年第3回（9月）定例会 一般質問傍聴席

# 市政に関する一般質問より

●9月定例会では、9日（水）と10日（木）の2日間にわたり、11人の議員により一般質問が行われました。  
 ●ここでは質問及び答弁の内容を要約して掲載してあります。

一般質問は、議員が行政全般にわたり、執行機関に対して事務の執行状況及び将来に対する方針等について質問を行い、定例会ごとに行われます。議案の質疑とは別に通告が必要で、当市は、通告の受付順に一般質問を行っています。

## 1. 対馬 實 議員 「一括質問方式」

1. 平川診療所（現状と今後）について

## 2. 大川 登 議員 「一括質問方式」

1. 新型インフルエンザ対策について
2. 災害時の避難誘導について

## 3. 古川 敏夫 議員 「一括質問方式」

1. 福祉行政（新型インフルエンザの対応・対策）について
2. 地域活性化事業（プレミアム付商品券）について

## 4. 齋藤 剛 議員 「一括質問方式」

1. 旧つがる農産物加工センターについて
2. 市所有地（旧平賀病院・旧おのえ幼稚園）の考え方について
3. 次期市長選について

## 5. 工藤 竹雄 議員 「一括質問方式」

1. 経済対策関係（政権交代に伴う問題点）について

## 6. 福士 恵美子 議員 「一括質問方式」

1. 予防医療について
2. 平川市緊急雇用創出事業、臨時職員募集について

## 7. 齋藤 律子 議員 「二問一答方式」

3. 子育て対策（ベビーチェア設置）について

## 8. 成田 敏昭 議員 「二問一答方式」

1. 職員の着服問題の再発防止策について
2. 広域団体に対する補助金（ひらか産直センター）の考え方について
3. 農業問題（FTA日米自由貿易協定）について
4. 「市の役割とは何か」（サービス・負担等）について

## 9. 田中 友彦 議員 「一括質問方式」

1. 保育料の滞納状況と対策について
2. 市長の政治姿勢について
3. 農業問題（果樹経営支援対策等）について

## 10. 齋藤 政子 議員 「一括質問方式」

1. 平成20年産リングゴ対策の総括について

## 11. 小野 敬子 議員 「一括質問方式」

1. 高齢者対策（地域密着型高齢者向け共同住宅）について
2. 県外の平川会との交流について

医療設備を導入し、患者の負担を少なく、患者数増の努力を！

○平川診療所○現状と今後○各種設備等



対馬 實 議員

平川診療所の現状と今後

対馬 ①平成19年4月末で平川病院が廃止後、診療所が開設され、約2年経過したが、患者数はどうなっているか。②今の外来患者数で採算がとれるのか。③採算がとれない場合、どのような方法目標を持っているのか。

市長 昨年度外来患者数は延べ1万4637人、1日平均60人。今年度8月末現在では6286人

平川診療所にある機器（自動散薬分包機）



※繰り出し（繰入金）：一般会計と特別会計等の会計間でのやり取りで、一般会計から支出すること。受ける会計では、繰り入れとなり、繰入金と表現する。

昨年同時期と比較して、延べ人数は227人の増、1日平均3・9人増となっている。平成20年度決算では、約1億2500万円の（）繰り出しをしている。赤字が出ないのが一番いいが、そうもいかないと思っている。繰り出しの額を少なくする努力をみんまでしなければならぬ。

医療機器の設備の拡充についての考え方

対馬 ①旧平賀病院（合併前）からの医療機器が大部分で、耐用年数が過ぎていくものはないか。

②患者数の増、早期発見早期治療のため、設備の拡充についての考え方は。平川診療所事務局長 古くなった機械もあるが、修理しながら使えるものは使っているというのが現状である。旧平賀病院からの医療機器をフルに活用しながら診療を行っている状況で、これ以上利用できない機器を購入しても、あまり得策ではないと考えている。

対馬 薬剤の分包機など、ほとんど修理ができない古い状態のものがあり、薬剤師は非常に苦しんでいると聞いている。早急に入れる考えは。

平川診療所事務局長 市財政と関係があるので、前向きに検討しながら購入を考えていきたい。

市民の健康、医療費抑制につながる肺炎球菌ワクチンに公費助成を！

○新型インフルエンザ○災害時避難場所



大川 登 議員

新型インフルエンザ対策として肺炎球菌ワクチン接種公費助成の考えは

大川 70歳以上の死亡原因の約70%が肺炎で、新型インフルエンザによる死亡者は、最終的に肺炎を併発したことによる死亡が多かった。肺炎球菌ワクチンは1度接種すれば5年以上の効果があり、新型インフルエンザに感染しても、重症化を抑制できるという医師もいる。市民の健康と医療費抑制



のため、新型インフルエンザワクチンが希望者すべてに接種できない見込みである以上、肺炎球菌ワクチン接種による予防策を講じるべきではないか。

市長 県内では助成金を出している市町村もある。ワクチン接種は（全額自費のため）7000円くらいかかるが、助成の内容は、医師が認めた患者に助成したり、金額も1500円や4000円と形態が違う。それらを踏まえて、どれくらい補助金を出せるのか、検討させていきたい。

災害時の避難誘導方法

大川 ①自分の避難場所

を知らない人がたくさんいる。防災マップも必要だが、看板の設置は必要なのではないか。②災害時に行政は、どんな誘導策をとるのか。

市長 避難施設は市地域防災計画の中で、町内の市内の各町会集会所、小中学校等合わせて7施設を指定している。ホームページにも掲載しているが、冊子を作成してPRするが、看板設置も、やる方向で検討する。

尾上地域と碓ヶ間地域は防災無線があり、周知ができる。平賀地域には防災無線がないため、広報町会放送で周知したいと思っている。現在、防災無線のあり方について、弘前大学と共同研究しており、今年度で方向づけがされる。

大川 ラジオ等を使った緊急放送など考えていないか。

総務部長 電波の関係は、検討・研究しなければならぬ事柄である。

旧3町村の商工会合併を記念して、特別プレミアム付商品券発行を！

○新型インフルエンザ○プレミアム付商品券発行事業



古川 敏夫 議員

新型インフルエンザ対策はどうなっているか

古川 ①6月定例会でも質問したが、8月に入って近隣市町村でも感染が広まるなど、毎日報道され、状況が変わっている。当市の対策は。②準備できるワクチンが足りない。先順位をつけて実施するとの報道があるが、当市はこの指示に従うのか。



市の緊急経済対策事業の一環として、今年度、実施したプレミアム付商品券の取り扱い店は黄色いほり旗が目印。

市長 今月(9月)末に正式に決定する予定で、国のはっきりした方針が出れば、県、市へと流れてくる。十分、この順位というのは守っていかなければならないと思っ

ている。市民生活部長 9月2日に市内で感染が確認されたことから対策本部を設置し、関係施設等に、市内で発生したこと、うがい・手洗いの予防について、改めて注意喚起をし防災無線、町会放送で利用した放送、広報車で広報した。また、公共施設への手指消毒剤の追加補充をし、マスクや消毒剤

を扱っている店舗に商品の充足をお願いしている。プレミアム付商品券発行事業の今後の展望に

古川 3年間実施したが、経済が好転するまで、平成23年度までは実施してほしい。平成22年4月、3商工会(尾上町商工会、平賀町商工会、碓ヶ関村商工会)が合併するので、平成22年度だけは、合併記念事業として特別に15%(今までは10%)のプレミアム付商品券の発行业務を計画しているが、市長の所見を伺う。市長 前回も「来年、3商工会が合併になるので、記念事業としてやることはやぶさかではない。」と答弁している。ただ、プレミアム部分について平成22年度1度限りの15%であれば、検討することとはやぶさかでない。平成23年度のことについては、経済状況を見ながら判断し、対応していかなければならない。

むだな税金を使わないために、建物は早期解体し売却を！

○旧つがる農産物加工センター○市所有地○次期市長選



齋藤 剛 議員

旧つがる農産物加工センターの利活用

齋藤 今年の4月から県の「つがる農産物加工センター」は「食品加工研修室」となり、週1回開放し、加工グループが活用する形になり、職員も不在である。高額な機械が使われずに眠っているのはもったいない。市として、県から譲り受け、管理を委託する形で活用する考えは持っていないか。

市長 7月24日、県に対し、市の重点項目として要望している。県民局から「9月以降の申し込みが非常に多いため、週1回は間に合わないのので週2〜3回は指導に行く予定である。」との回答を得ている。また、市としての利活用方法について、大学とも協議している。やり方によっては、大学でも、参画できると考えている。内部では、県から指定管理者として受けて、その上で利活用を考えていくべきではないかということで検討している。

市所有地の方針は

齋藤 ①旧平賀病院と、②旧おのえ幼稚園の建物について、解体し土地を売却する考えはないか。市長 診療所として一部使っているため、建物も一緒に売却できないかと考えている。現在は放課後の、児童の交流の場として社会福祉協議会に活用をお願いしている。使っている人の了解を得て別な場所をみつけるなど、対応を早めに処理しながら、最終的には売却をするという考え方である。

次期市長選に出馬を

齋藤 来年1月には市長選挙がある。平成6年旧平賀町長選挙で初当選し、合わせて3期と合併後の初代平川市長として、健全な平川市が誕生した。多選が悪いとは言わないが、ある程度の年齢になったら、後継者を指名するのもし事ではないか。後継者を育てているのか。市長 自分の後継者として、考えている人はいらう返事はまだ。後援会とも協議しているが、後継者が出馬しない場合、もう一度出馬しなければならぬのではないかと聞かれている。もう少し時間がかかる。

政権交代により、今後どのように影響してくるのか注視する必要がある。



※ひもつき補助金：国から、地方公共団体へ支出する補助金や負担金など。使い道が制約されており、用途を特定しない地方交付税の対比となる。

政権交代により、今後市政へどのような影響がでるのか！



工藤 竹雄 議員

政権交代による市政への影響は

工藤 ①7月17日の臨時会において平川市緊急経済対策の補正予算が可決された。政権公約に補助金の見直し、補正予算の凍結、公共事業の見直しなどを行うとされている。これに対する具体的な策を示せ。②地方の財源を

ふやす根拠は何だと思っか。③農業の戸別所得補償制度導入には、問題点が多いと考えられるが、見解を示せ。  
市長 市長会でも問題になっていくが、経済対策については、事業がスタートしている部分があるので、すべてをカットすることはできないし、やっつては困るというのが市町村の願いである。仮にそうなるのであれば、運動を展開していかなければならぬと思う。民主党のマニフェスト

は地域主権である。(一)ひもつき補助金をやめて、財源を交付して、やり方は地方に任せようという発想のようであるため、地方交付税の削減等は出てこないと期待している。また、根本的に見直しして、むだ遣いをカットする方針のようなので、そういうところから、財源は出てくると感じている。補償制度の内容は、全く見えていないが、我々の目標も農業で生活できる農家である。そういう農家を育成することによって、農業の後継者等が解決される方向に向かうのではないかと判断している。  
企画財政部長 7月の補正予算の財源の大半は、今回の国の予算の財源、公共投資特別対策交付金等を見込んでいたが、非常に状況が流動的であるため、注視しながら、財源の確保のめどがつくまで、事業の着手は留保しつつ見守っていききたいと考えている。

健診・特定検診の受診率をあげて早期発見・早期治療を！



福士 恵美子 議員

予防医療

福士 ①高齢者対策として、保健師が地区の集会所などに出向き、血圧測定や健康相談をしていた活動がなくなり、健康センターで行うようになった。年齢制限があり、参加者は少ない。介護予防なら年齢制限はなくすべきではないか。②基本健診、がん検診の受診率③健診後、再検査や精密検査が必要になった人へ、

どのような対応をしているのか。  
市長 健康センターを活用した事業や、地域包括支援センターの業務を委託している在宅介護支援センターの事業を実施しており、介護予防教室は、地区の集会所等で51回、延べ1056人の参加があった。合併して、範囲が広くなり、地区に出向くことは難しくなりましたが、保健師にも努力はしてもらわなければならないと思っている。年齢制限は、こだわるものではないので、自由に来ていただきたい。平成20年4月1日40歳から74歳までの被保険者8295人に対して2586人受診しており31・2%である。県の平均は24・6%で、決して、



健康センターのトイレに設置してあるベビーチェア

健康センターと尾上総合支所には設置している。各企業や大型スーパーなどにもたくさん設置されている。トイレの中に設置するスペースが確保できれば、経費はそんなにからないので、ふやすことを考えていかなければならない。

で悪くはない。すべての方に保健師が家庭訪問や電話で早期に受診するよう指導している。福士 精密検査に行かないでなくなっている例が非常に多く残念である。再検査が必要な方たちの受診率も100%を目指してがんばってほしい。

公共施設のトイレにベビーチェア設置の考えは

福士 先日、文化センターで、子供を連れた母親が困っている場面に出会った。トイレ設置状況を調査しながら、乳幼児とともに公共施設を利用する方の支援をすべきではないか。

# 再発防止策として、職員がきちんと仕事ができる体制を！

○職員の着服問題と再発防止策 ○広域団体に対する補助金 ○農業問題 ○市の役割とは何か



齋藤 律子 議員

## 職員の着服問題について

齋藤 平成19年12月に公金着服問題が発覚した時、記者会見で「二度とこのようなことが起こらないようにする。」との事だったが、前回の教訓が生かされていない。①事件はなぜ起きたのか。②再発防止の対策は。



農業委員会会長 通帳の残高を確認することなく、職員に預けていたことに起因し、深く反省している次第である。現在、親睦会の通帳・印鑑は親睦会で管理している。副市長 極力、外郭団体の会計を職員は取り扱わない方向で指導し、47件あったものが26件に減少している。組織の成立上どうしても会計を取り扱わなければならない場合は、通帳と印鑑を別々の職員が管理することを徹底させている。

あるが、団体についてはつきりとしたルールはないと思っている。農協の組合長から、産直センターを拡張したいという要望を受け、5000万円が限度だという話をした経緯がある。農協の事業だから、同じ権利があると思っている。当然農協の施設だから、みんなに資格があると思うが、具体的な利用の方法は、農協が対応することである。

## J・A津軽みらいへの補助金の考え方

齋藤 ①行政区が広域にまたがる農業団体に対して、補助率がとても高い。どのようなルールで補助金を出しているのか。②「産直センターひらか」へ高い割合の補助金を決定したことで、同じ組合員の、尾上地域の農家も会員になり、出品できる権利があるのでは。市長 補助要綱はいろいろ

# 保育園にも協力をお願いして、保育料の滞納解消へ！

○保育料の滞納状況と対策



成田 敏昭 議員

## 平成20年決算保育料の収入未済（滞納）額と内訳

入済額302万4390円。平成19年度になると調定額2159万5960円で収入済額430万5370円、収納率が19・93%。平成20年度は調定額2383万9730円、収入済額494万5380円、収納率20・74%、88件。

成田 現在市内13カ所ある保育所（委託）は、同じ料金である。合併してから毎年滞納の額がふえている。各年度の徴収率と未納件数、金額、特定の滞納者がいないのか。

どのような徴収方法をしているのか  
成田 年間の収入が2億614万円くらいなので、約20%の未納額は、かなりの金額である。努力はしているだろうが、なかなか結果が出ていない。徴収方法はどのようなのか。

市長 平成20年度は徴収率96・96%、滞納者83件で624万9000円。平成18年度の滞納繰越分は収納率が15・45%で、滞納は低い。（一）調定額1957万4180円、収

市民生活部長 児童手当などの受給者には、納付相談をしながら、手当の中から何とか納めていた

保育園は、保育ができない保護者にかわって乳児・児童を保育する児童福祉施設であるが、保育料の未納は市の財政を圧迫しつつある。



※調定額 納めるべき全体の額。納めてもらうと収納、納めていないものは滞納となる。

平川市保育料収納事務協力員設置要綱について  
成田 県内6市では、保育園の園長に協力してもらい、保育料の徴収を行っている。昨年2月につくられた要綱をかえて、各施設長の協力をいただいで、保育料を徴収する意思はあるのか。  
市民生活部長 現在の要綱は保育園を収納事務の協力員としてお願いし、納付書の配布や納入意識の向上、口座振替の啓発といったことで、他市で行っているような、保育園の園長に直接納付の依頼はしていない。そういう方法も、施設側と協議しながら検討してみたい。

次期市長選 2期目について決断すべきではないか！

○市長の政治姿勢 ○果樹経営支援対策



田中 友彦 議員

市長として2期目を考えているのか

田中 旧平賀町では3期務めているが、平川市長としてはまだ1期目である。公約としてやり残したことや、これからまだまだやることがあるのではないか。思い半ばだと感じるが、2期目に向かって考えていかなければならないのではないかと。体力や考え方はまだまだ60



議場で答弁する外川市長

代だと思われるので、ここで決断をする考えは。市長 9月1日に連合婦人会と語る会の時に連合婦人会からも出馬要請を受けている。次期市長選挙については、後継者が出馬しなければ、自分が出馬しなければならぬと思っている。後援会とも協議させてもらいたいと思っている。

果樹経営対策事業の継続について

田中 ①国が5割、個人負担5割の事業であるが、市が単独助成し、農家は大変助かっている。今年

度分も、前年度同様の助成を望んでいるが、お金の動きは平成22年6月頃と聞いている。平成22年度の予算には計上されるのか。②果樹共済加入のための600万円の予算の内容をお知らせ願う。

市長 原則的には国の事業で、市単独の対策として、わい化樹25%、普通樹20%、防霜ファン30%、防風網については25%のかさ上げをしている。今年はおもろい、来年も引き続きリンゴ農家を助けていくために、続けていかなければならないと思っている。

経済部長 平成23年度までにりんご共済加入率を50%以上にしなければ今後自然災害の場合、原則として県が薬剤費などの直接費の支援を行わないことから、風・ひょう・霜のどれか1点に加入した場合10%、2点加入した場合20%、3点すべて加入の場合30%を助成するという内容である。

リンゴづくりは日本一。販売に対する勉強も必要ではないか！

○平成20年産リンゴ対策の総括



齋藤 政子 議員

平成20年産リンゴ販売状況はどうなっているか

齋藤 ①JAの仮払い、精算払いの状況と1箱当たりの金額。②前年(平成19年)産との比較。③生果で廃棄された量はどのくらいか。

市長 津軽みらい農協の「ふじ」を基準にすると、「サンふじ」の1箱当たり仮渡標準単価2300円で、平均精算単価1858円。差額442円。「有袋ふじ」の仮渡標準単価



大田市場：青森県産リンゴがせりに出されているところ。(平成21年2月りんご宣伝販売促進で東京で販売した時、市場を見学してきました。)

2900円に対して平均精算単価2689円、差額211円。「サンふじ」の前年産比66%。「有袋ふじ」は72・8%になっている。リンゴを堆肥化するための腐熟促進剤(石灰窒素)を市が助成したデータから推計すると、原箱換算で約1750箱、約35トンの見込み

今年度の販売対策は齋藤 リンゴづくりは日本一の青森県だから、強い自信に満ち、誇りをもっているが、販売はどうであるのか。行政として、消費者、市場対策としての考え方を示せ。

市長 主体は農協であるため、今年も顔の見える

リンゴ販売対策からも、ぜひやるべきだと思っている。今後農協と協議しながら、実現に向けて努力したい。

農家の規模に合わせた中期的な計画策定は齋藤 小規模農家に対し、市として対策を考えているのか。長期計画も大切だが、5年後の平川市の農業をどうするのか。農業に対するビジョンを示していただきたい。

市長 今後の農政については、農政審議会等で十分審議されたはず。私は認定農家の育成・強化をしていかなければならないと考えている。小規模農家はできるだけ、農地を認定農家に向けて移動していくというのが、平川市の一つのビジョンである。また、政権が変わり小規模農家を育成する考え方が打ち出されているので、それらを踏まえ、今後の平川市の、農政の方針について対応していかなければならない。

地域ぐるみで支え合いができる、地域に密着した高齢者共同住宅を！

○高齢者対策○平川会との交流・体制づくり



小野 敬子 議員

高齢者向けの共同住宅を進める考えについて

小野 前回の質問でも取り上げたが、長年住みなれた地域で、周りのコミュニティを築きながら「ついでにすみか」となるような住宅を進めてほしい。最後まで自立した生き方をしてもらうための対策の一つとして、町内や地域の人が徒歩や自転車でも遊び



に行ける範囲で、公設民営の小規模・低料金の賃貸住宅をつくってはどうか。中には保育施設や放課後児童対策のスペースを併設しているところもある。さまざまなケアを考える上でも、地域ぐるみの支え合いを考えるなら、地域密着型の高齢者または軽度介護付共同住宅を考える余地はないか。

市長 私もその後、関心を持って情報を見ている。例えば、合併等で小学校等の空き家ができれば利用できるかというように、ぜひ検討してみる必要があると思う。ひとり暮らしというのは大変寂しいものである。集合住宅というのには考えて進めていくべき。今年度において取り組み方を検討し、はつきりとした方針が決まれば、新年度からの予算でこの問題について取り組んでみたい。

建設経済常任委員会

調査 報告

調査 報告



倉水理事長よりプラントにて説明を受けました。

●調査期日

平成21年11月26日(木)

●調査場所

つがる市木造(旧木造西中学校体育館跡地)連続炭化プラント

●調査目的

間伐材等、不要材の有効利用

●調査内容

・燃料用木材チップの生産・土壌改良、水質浄化用の炭・廃熱の利用

●出席議員(計7名)

齋藤 政子、小野 敬子、古川 敏夫、木村 兼田、小笠原勝則、齋藤 剛、山口 昇

●出席者

津軽国土保全協同組合 理事長 倉水則秋、つがる市経済部長 松橋正春、同農林水産課長 高橋寿、議事事務局次長補佐

相馬正治、主査 長尾陽子

●調査結果

◇山を愛する倉水理事長 手入れが行き届かず荒れた山を目にし、何とかできないかと日々考えていた倉水理事長は、林野庁の協力を得ながら現地で残材を粉砕、チップ化し、木炭を製造する可搬式炭化装置を開発しました。現地で木炭生産が可能になれば、生産コストの削減や、松食い虫の被害木を炭化することで、流域の環境保全と資源化に大きく貢献できると考えました。

生産された炭は土壌改良材として施用し、農作物のブランド化や、プラント稼働による雇用の創出、廃校の活用等、さまざまな分野にわたり私たちにヒントを与えてくれました。

今後は、校舎の空き教室において、廃熱を利用し、冬期間も農作物が収穫できるように計画しているとの事で、注目していきたいと思えます。

みんなで徹底しよう!! 「3ない運動」

- 「贈らない」 政治家は有権者に寄附を贈らない
- 「求めない」 有権者は政治家に寄附を求めない
- 「受け取らない」 政治家から有権者への寄附は受け取らない



# 議会の動き

平成21年

6月3日 議会広報特別委員会

5日 議会運営委員会

12日 おのえ企画指定管理者者祝賀会に議長出席

24日 平成21年度平川市物産協会通常総会に議長出席

28日 第14回平川市たけのこマラソン大会に議長ほか出席

30日 新たな過疎対策法の制定を求める青森県総決起大会に議長出席（青森市）

7月1日～3日 議員視察研修（兵庫県加西市・たつの市）16名

6日 議員全員協議会

8日～11日 議員視察研修（北海道夕張市・美瑛町ほか）5名

10日 平成21年度平川市「社会を明るくする運動」及び「青少年の非行問題に取り組む全国強調月間」運動出発式に副議長出席

13日 平成21年度国道45号整備促進期成同盟会要望活動に副議長出席（青森市）

16日 津軽南市町村議会連絡協議会事務局長会議に事務局長出席

17日 千葉県八街市議会誠和会視察研修のため来庁

17日 平成21年度国道394号整備促進期成同盟会総会に議長出席（七戸町）

21日 第3回平川市臨時会

23日 第64回市町村対抗青森県民体育大会平川市選手団結団式に副議長出席

27日 平成21年度津軽南市町村議会連絡協議会第1回定期総会に正・副議長、事務局長出席

29日 総務企画常任委員会所管事務調査平成21年度第2回平川市地域公共交通協議会に議長出席

## 八戸市へ 議員研修

10月13日（火）

八戸市「ウエルサンピア八戸」において青森県市議会議員研修会に17名参加し、研修後には八戸市博物館・史跡根城の広場を視察しました。



## 陸前高田市議会 ようこそ

視察研修で来庁



11月10日（火）岩手県陸前高田市議会議会報特別委員会の委員6名の皆様、当市の議会広報について、研修のため来庁しました。  
原稿作成は委員会で行なっており、定例会終了後1カ月の期間に毎戸に配布するというスピーディーな議会報については、当市議会も見習うべきと感じました。（写真中央及川委員長）

## 請願書・陳情書の出し方

請願書・陳情書の書き方、留意事項は次のとおりです。

請願書（陳情書）はその要旨、理由を簡単に、分かりやすく書いてください。

提出年月日、請願（陳情）者の住所、氏名（法人の場合は、その名称及び代表者氏名）を書いて必ず押印してください。

請願の場合は、一人以上の紹介議員が必要になります。紹介する議員は、署名または記名押印をしてください。

紹介議員が付かないときは陳情書としてください。

道路等は簡単な地図・略図・図面等をつけてください。

### 【記入例】

平成 年 月 日

平川市議会議長（氏名） 殿

請願（陳情）者 住所 氏名 氏名

紹介議員 氏名

〇〇〇〇〇に関する請願（陳情）書

【請願（陳情）の要旨】

【理由】

## 編集室一室から

◇食料自給率について  
思う

食料は、人の生命維持に欠くことのできないものであるだけでなく、健康で充実した生活の基礎となるものです。私たちは、日本の食料自給率向上のため、行動を起こさなければなりません。

具体的には、消費者と生産者の両面から食料を見直していくことが必要です。豊かな国産物を食べ、食べ残しを抑えることで、人間の健康と美しい環境、そして子供たちの未来を守ることに繋がります。行政、企業だけでなく、国民全体が取り組むべき課題であると思います。

また、食料危機を考えた場合、現在の自給率のままでは、国民に対して安定した食料供給に支障が出る可能性が高いとされています。私たちの今の食生活が、このまま守られる保証はないと思います。（小野 長道）